

# かしまもと⑨

令和3年1月13日

発行者: 校長 佐藤 和暁

## 3学期が始まりました。

新年、おめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

冬休み中もコロナ禍は改善することなく、3学期早々に臨時休業となってしまったことは残念です。

しかし、学校が始まった以上は、感染防止対策をとりながら教育活動を進めるしかありませんので、本校でも状況を踏まえながらそれを進めていくようにしたいと考えております。保護者の皆様には何卒ご理解をいただければ幸いです。

## 始業式で子ども達に次のような話をしました。

今日から予定より1日遅く3学期が始まりました。残念ながらコロナ禍から抜け出すことは、まだ出来ていません。ですから、マスクを着けることや換気することは勿論、「新しい生活様式」に沿って学校生活を送ることは、まだ続けなければなりません。

さて、2学期の終業式でも確認しましたが、今年度皆さんに頑張ってもらいたいことが4つありました。

「あいさつや返事がしっかり出来るようにすること」

「いじめや意地悪は決してやってはいけないこと」

「廊下や階段は右側を歩くこと。(走らないこと)」

「勉強にしっかり取り組むこと」

これらのことをは3学期も変わりませんが、3学期はこの中でも特に「あいさつ」と「勉強」にしっかりと取り組んでください。

「あいさつ」は、学校の中だけではなく登下校の指導をしてくださっている保護者や地域の皆さんにもしているでしょうか。皆さんの一人一人の姿が笹谷小学校の姿として受け止められています。学校の外でもしっかりとあいさつが出来るようにしてください。

そして、「勉強」が出来ようになることは、皆さんにとってとても大切なことです。このことは、今はよく分からないかもしれませんが、やがて必ず気づく時が来ます。3学期はまとめの学期なので、勉強をしっかりして、自分の力をより一層高めて卒業、そして進級出来るようにしてください。

最後に、出来るだけ早くこのコロナ禍から抜け出し、以前と同じような学校生活を送ることが出来るようになるために、笹谷小学校も全員で協力していくことを確認して、私の話を終わります。

## うれしいお手紙をいただきました。

先日、学校へ次のようなお手紙をいただきました。始業式で子ども達にも紹介し、一人一人の姿や行動が笹谷小学校の代表として捉えられていることを話しました。

なお、お手紙にお名前が記載されていましたが、住所をお知らせいただけませんでしたので、ご本人の了解を得ることが出来ませんでした。ここでは意を体してお名前をご紹介しますことはしません。

本校の児童が困っている人を助けたこと、そして心温まるお手紙をいただいたこと、新年早々によいお知らせをすることが出来ましたこと、うれしく思います。

福島市立笹谷小学校 佐藤和暁校長先生

拝啓

突然お手紙を差し上げる失礼をお許しください。小生は貴校の学区内に住む高齢者ですが、過日(12月18日)、重い買い物袋を抱え難儀して雪道を歩いていると貴校の生徒さんが「持ちましょか」と親切な言葉をかけて下さいました。この親切な申し出に感激して福島民報新聞「みんなの広場」に投稿いたしましたところ、12月26日に掲載されました。

生徒さんの親切でごく自然な申し出は校長先生をはじめとする諸先生方の暖かい人間味のあるご指導の賜物と思い、一市民として深く感謝致たく存じます。

末筆ながら、貴校の益々のご発展、ご活躍をお祈り申し上げます。

敬具

2020年12月28日

二伸:住所を明記しない失礼をお許しください。